

## 2024 年度 動物実験部会 自己点検・評価

2024 年度当初計画 <P>
<p>学内における適正な動物実験の管理・運営を行うため、以下を当初計画とした。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 動物実験部会を開催し、動物実験計画を審査・承認する。</li> <li>2) 動物実験教育訓練を実施する。</li> <li>3) 動物供養慰霊祭を実施する。</li> <li>4) 外部検証（2 回目）の受検に向けた準備を行う。</li> </ol>
2024 年度活動概要 <D> / 点検・評価 <C>
<p>1) 動物実験部会の開催ならびに 2023 年度動物実験実施報告の提出依頼を行った。 ①以下のとおり、動物実験部会を開催した。</p> <p>2025 年 3 月 26 日 第 1 回動物実験部会（メール会議）</p> <p>i) 受付番号 第 25-01 号（継続変更あり） 動物実験責任者：松本大学大学院健康科学研究科 山田一哉教授 研究課題：ホルモンと栄養素による遺伝子の転写制御機構の解析 研究目的：食物摂取後の哺乳動物の生体内での遺伝子発現の変更機構を解析する。 動物実験実施者名：健康栄養学科 塩谷一紗助手、他学部生 14 名 実験実施期間：2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日 使用動物：ラット（雄）50 匹、マウス（雄）60 匹</p> <p><b>【審議結果】</b> 「承認」とした（3 月 28 日）。</p> <p>ii) 受付番号 第 25-02 号（継続変更あり） 動物実験責任者：松本大学大学院健康科学研究科 山田 一哉教授 研究課題：生化学実験（健康栄養学科 2 年生後期） 研究目的：絶食時および高炭水化物食摂取後の血糖および血中脂質濃度の測定と代謝酵素遺伝子の発現変動を解析する 動物実験実施者名：健康栄養学科 塩谷一紗助手 実験実施期間：2025 年 9 月～2026 年 1 月 使用動物：ラット（雄）10 匹</p> <p><b>【審議結果】</b> 「承認」とした（3 月 28 日）。</p> <p>iii) 受付番号 第 25-03 号（継続変更あり） 動物実験責任者：松本大学大学院健康科学研究科 河野 史倫教授 研究課題：個体差発生の生理的要因と形成メカニズム解明 研究目的：活動歴や障害歴など骨格筋が経た前歴が骨格筋の適応性にどのような影響を与えるのか追求する。また、それらの変化を裏付けるヒストン修飾変化を明らかにするため、遺伝子ノックアウトやノックダウン、薬剤を適宜組み合わせる検討を行う。 動物実験実施者名：健康科学研究科 増澤諒（共同研究員）、柴田和宏、丸山翔、篠崎智貴、他学部生 17 名 実験実施期間：2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日 使用動物：ラット（雄・雌）20 匹、マウス（雄・雌）100 匹</p> <p><b>【審議結果】</b> 「承認」とした（3 月 28 日）。</p> <p>iv) 受付番号 第 25-04 号（継続変更あり） 動物実験責任者：松本大学大学院健康科学研究科 高木 勝広教授 研究課題：血糖低下作用を示す食品成分のスクリーニングと作用機構の解明 研究目的：食物摂取後の哺乳動物の生体内での遺伝子発現の変動機構を解析する 動物実験実施者名：健康栄養学科 掛川スフードサンドラ、傘木萌友、春日あかり、高橋明日香、中村千穂、他学部生 9 名</p>

実験実施期間：2025年4月1日～2026年3月31日  
使用動物：ラット（雄）50匹 マウス（雄）40匹

【審議結果】

「承認」とした（3月28日）。

②2023年度分の動物実験計画の報告書提出について、2024年9月20日付けのメールで告知した。全ての代表者から報告書の提出があり、動物実験が適正実施されてことを確認した。

2) 下記のとおり、動物実験従事者に対して教育訓練を実施した。

2024年4月1日 スポーツ健康学科3年生および健康科学研究科大学院生

2024年10月1日 健康栄養学科2年生

3) 2024年5月22日に2024年度動物供養慰霊祭を実施した。河野部会長より教員代表挨拶が述べられ、2023年度も動物実験が適正に管理・実施されたことを報告した。

4) 外部検証（2回目）の準備について、河野部会長と塩谷助手、事務局担当者と協議し進めた。2024年度は、2024年6月29日に盛岡市で開催された公私立大学実験動物施設協議会「実験動物管理者の教育訓練」に参加し、修了証を取得した。また、実験動物飼養保管室の廃棄設備点検および修繕を行い、動物飼育環境の整備に努めた。

次年度に向けた課題・方策 〈A〉

2025年度も引き続き適正な動物実験管理に努める。外部検証（2回目）の受検準備について、2025年度は飼育動物の微生物検査実施、飼育室内のクリーン度を保つフィルターの点検ならびに交換を実施する予定である。また教育訓練においては、動物虐待に対する新たな定義付けや教育訓練の必要が公私立大学実験動物施設協議会から通達されており、これらの内容も次年度は盛り込み教育訓練を実施する。

執筆担当／部会長 河野史倫